

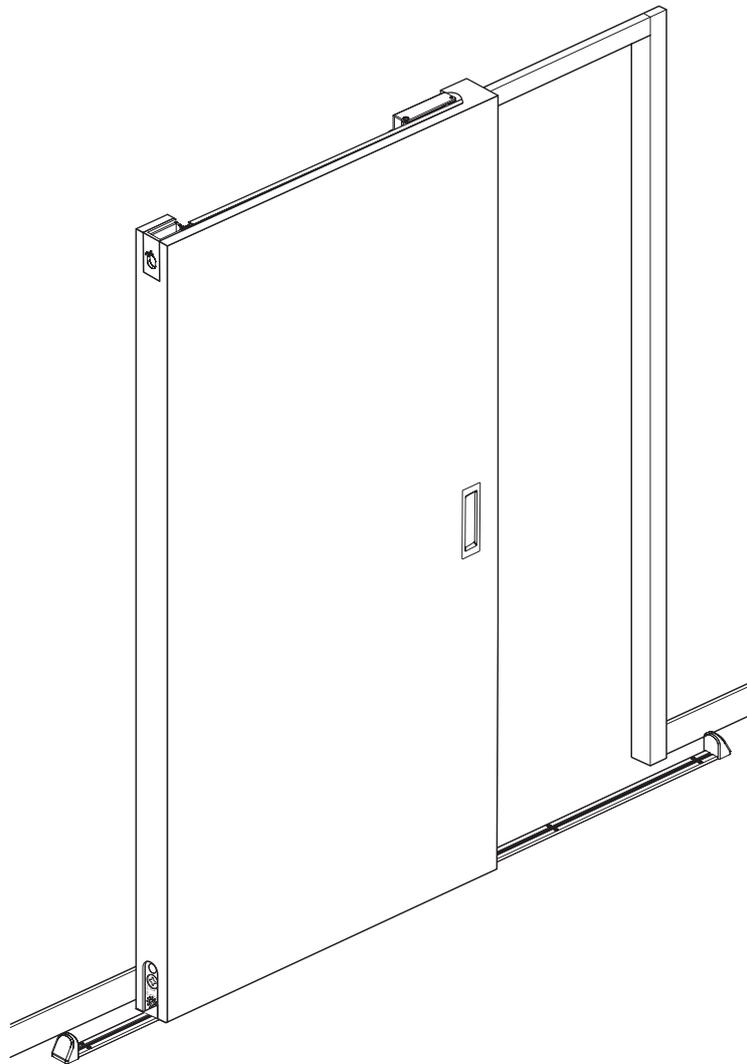
miratap

建具

ノッポ アウトセット引戸 床レールタイプ ソフトクローズ

組立設置説明書 04-NOP13S-01

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。

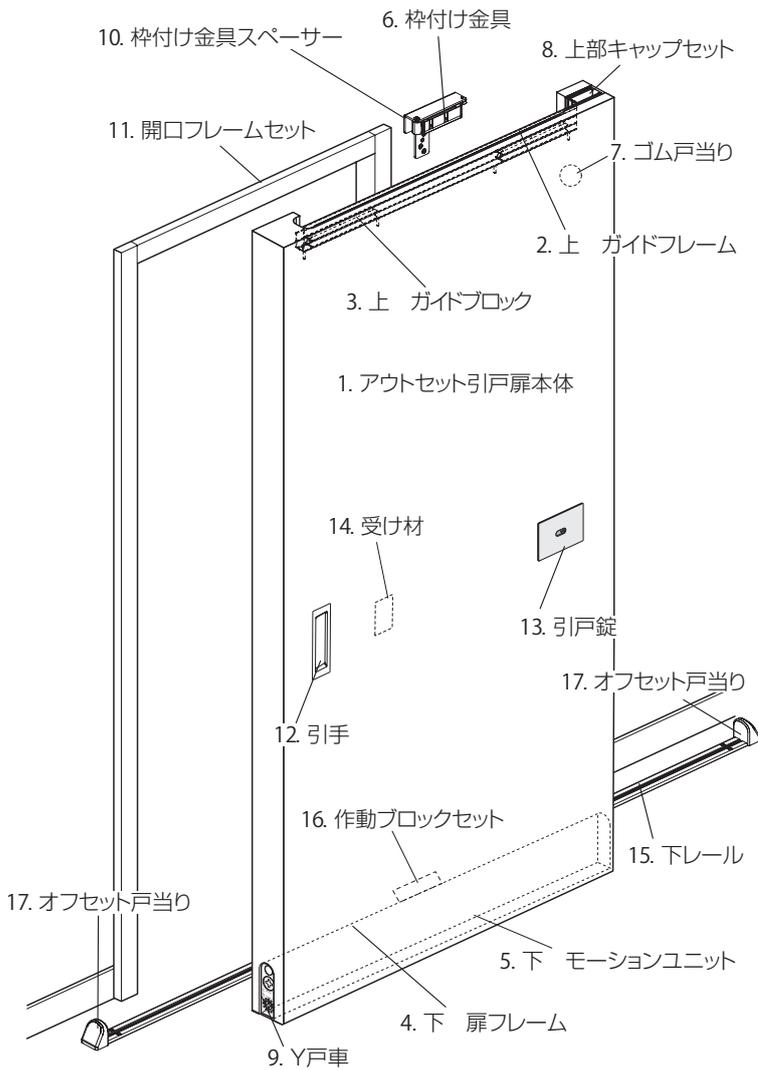


扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



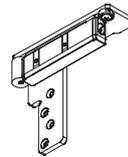
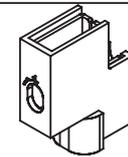
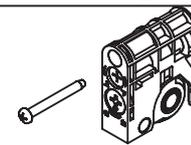
枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図



《扉》

番号	名称	数量
1	アウトセット引戸扉本体	1
2	上 ガイドフレーム (扉に取り付け済)	1
3	上 ガイドブロック (扉に取り付け済)	2
4	下 扉フレーム (扉に取り付け済)	1
5	下 モーションユニット (扉に取り付け済)	2

6	枠付け金具 (+)皿タッピンねじ 4×45		1
7	ゴム戸当り(白) (+)丸木ねじ 3.5×25		1
8	上部キャップセット(アンバー) (扉に取り付け済)		1
9	Y戸車(アンバー) (扉に取り付け済)		2
10	枠付け金具スペーサー 枠無の場合:7.5×35×94 枠有の場合:12×35×94		1 (空錠の 場合各1)

《枠》

番号	名称	数量
11	開口フレームセット ※フレームなしタイプの場合は付属しておりません。	縦用 2 横用 1

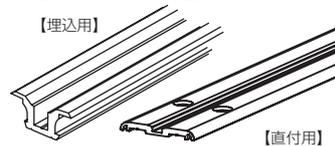
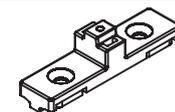
《引手》

番号	名称	数量
12	引手 (枠有錠付きタイプの場合は、引手付錠)	扉1枚につき1組

《錠》

番号	名称	数量
13	引戸錠 (枠無・錠付の場合)	1
14	受け材 7.5×35×50 (枠無・錠付の場合)	1

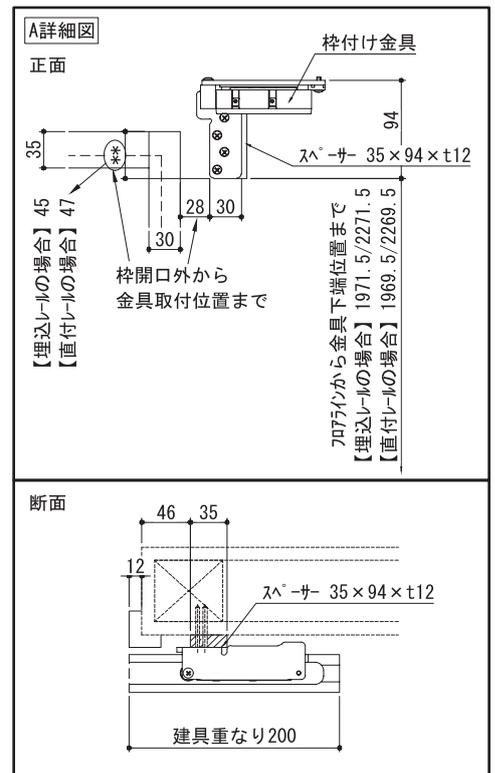
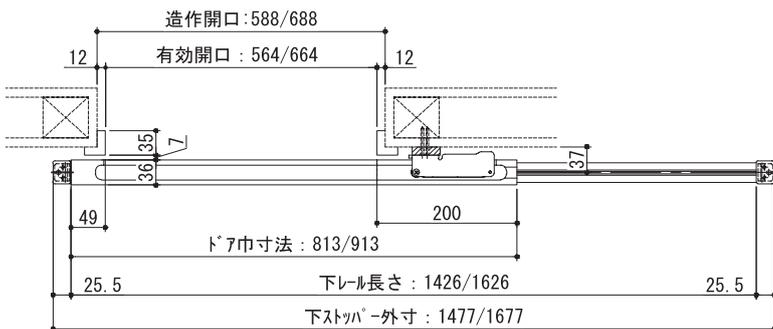
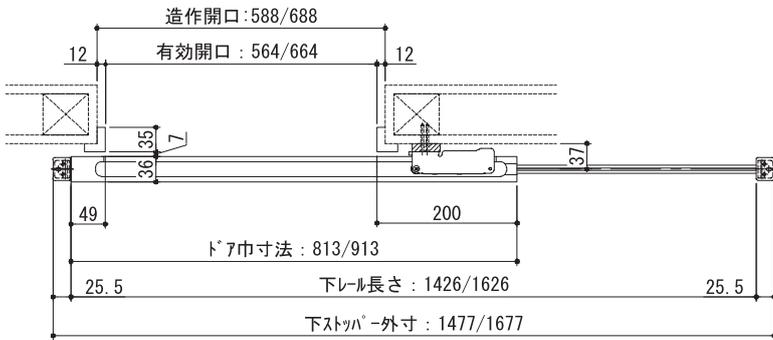
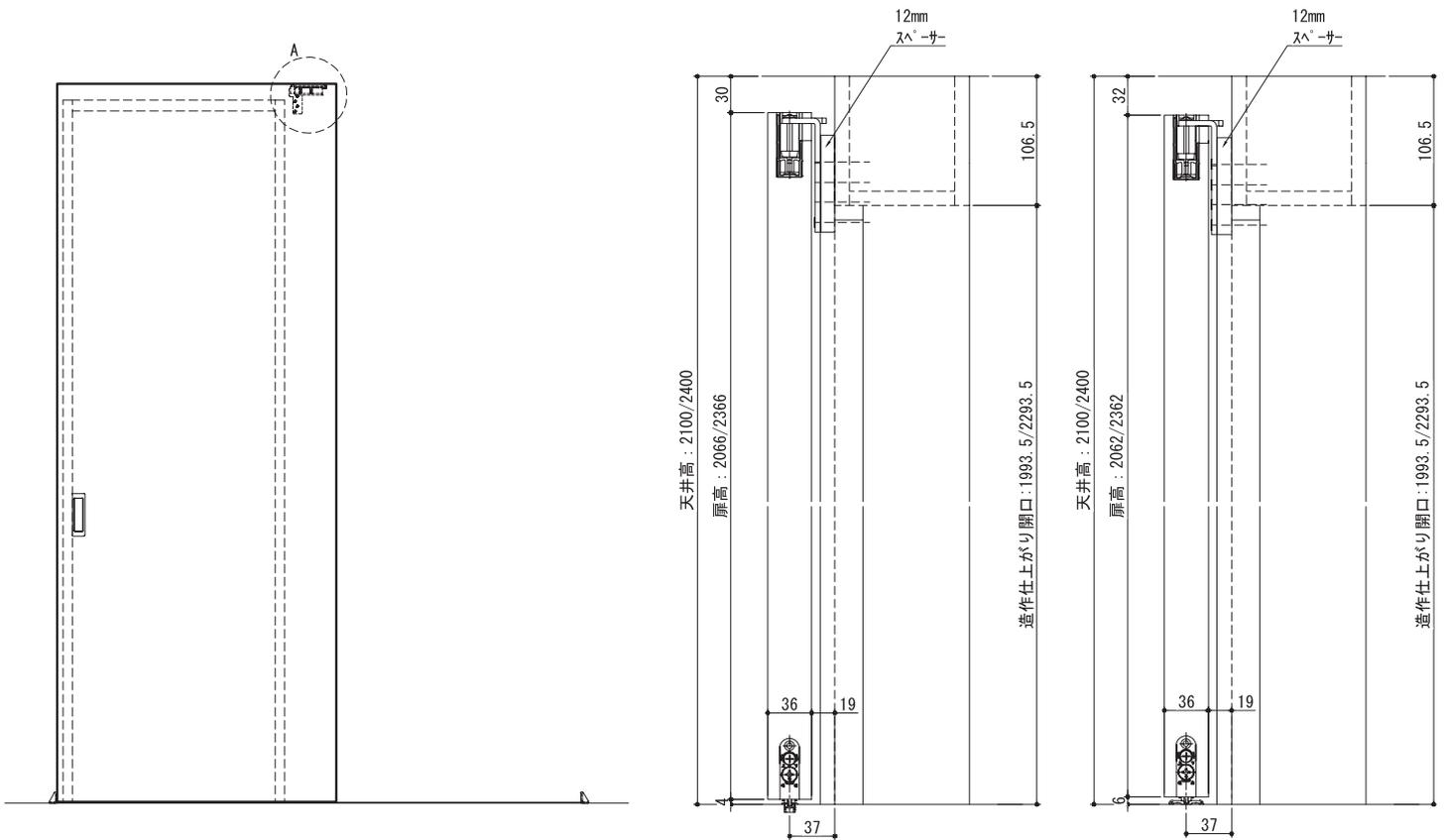
《レールセット》

番号	名称	数量
15	下レール(シルバー・ブロンズ) (+)皿ピースねじ 4×19(D=6) (直付用) 【埋込用】	 1
16	作動ブロックセット (+)皿ピースねじ 3.5×19	 1
17	オフセット戸当り (+)なべタッピンねじ 4×25 (埋込用) (直付用) 兼用	 2

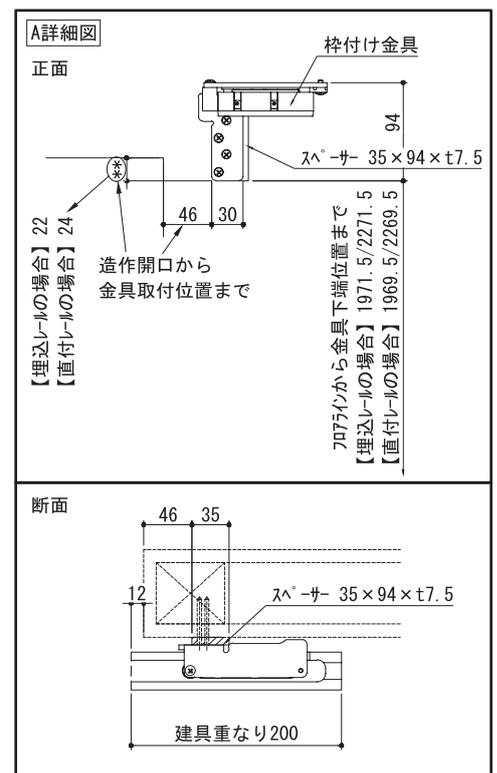
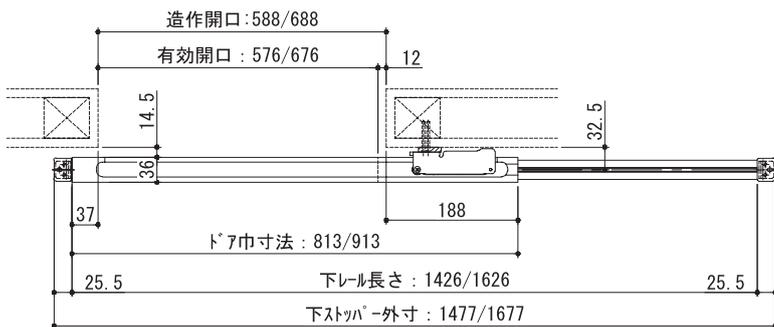
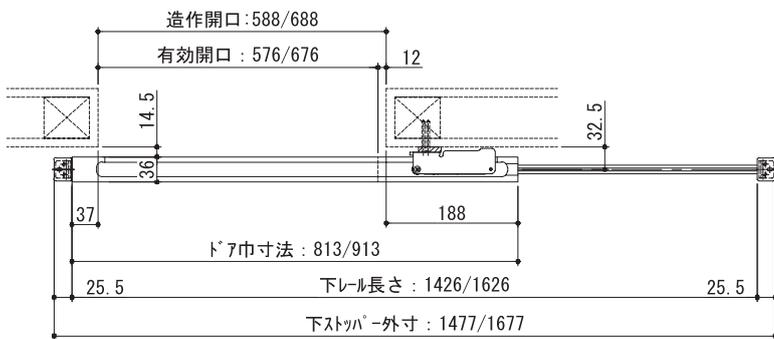
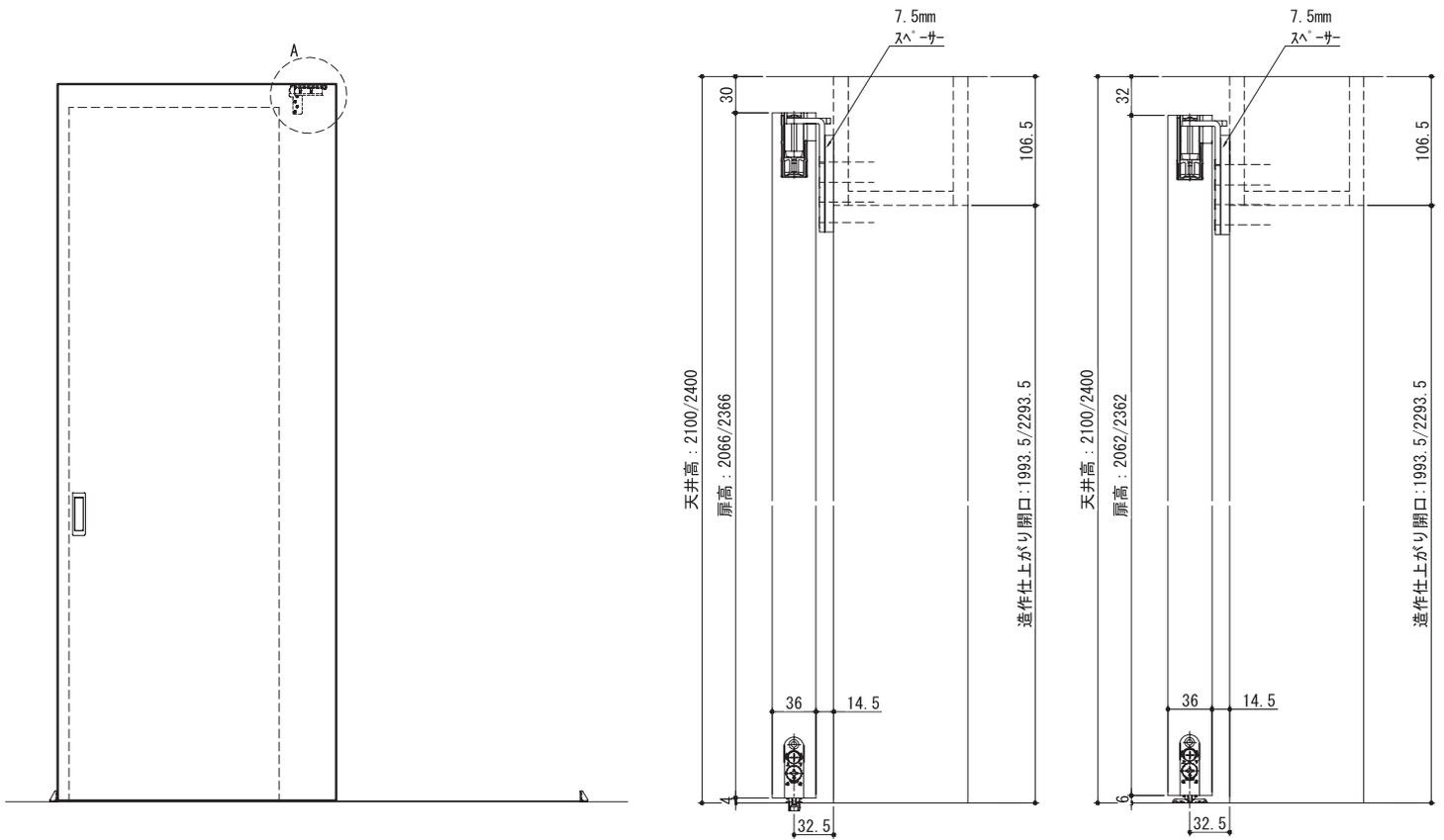
《その他》

番号	名称	数量
18	組立設置説明書・取扱説明書 (必ずお施様にお渡しください)	各1

2 寸法図 開口フレーム(有)



3 寸法図 開口フレーム(無)

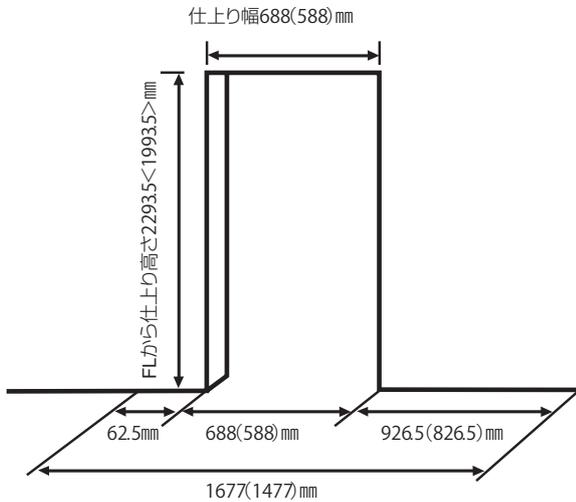


《2. 開口部の寸法確認》

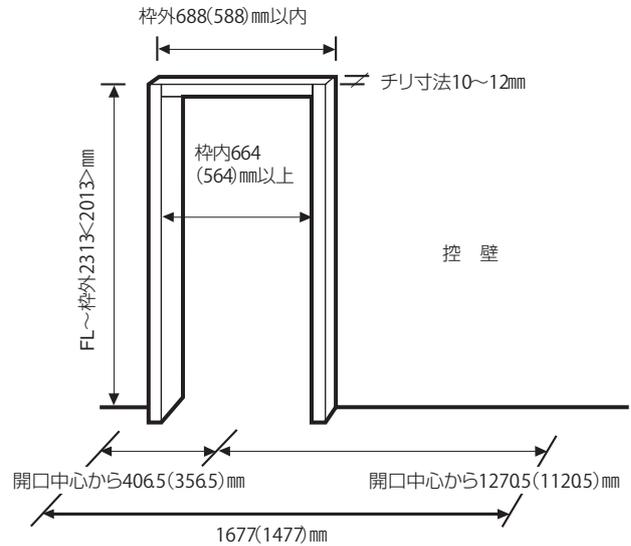
図は913幅タイプです。() 寸法は813幅、< > 寸法は2100高です。

※開口部フレームなしタイプもございます。

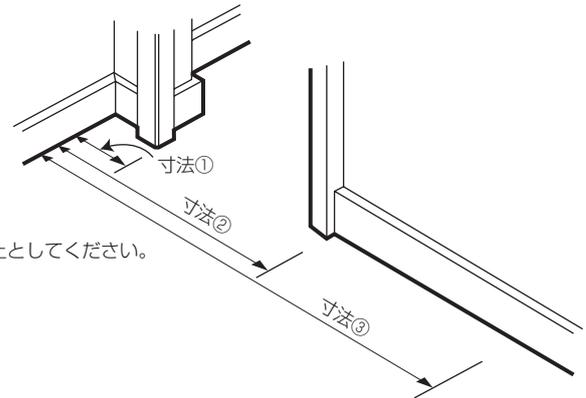
●開口フレームセット使用の場合 (取付前の仕上がり寸法)



●既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合



●入隅の場合 (開口フレーム取付後の仕上がり寸法)



▽寸法①は開口フレームあり：74.5mm、なし：62.5mm以上としてください。

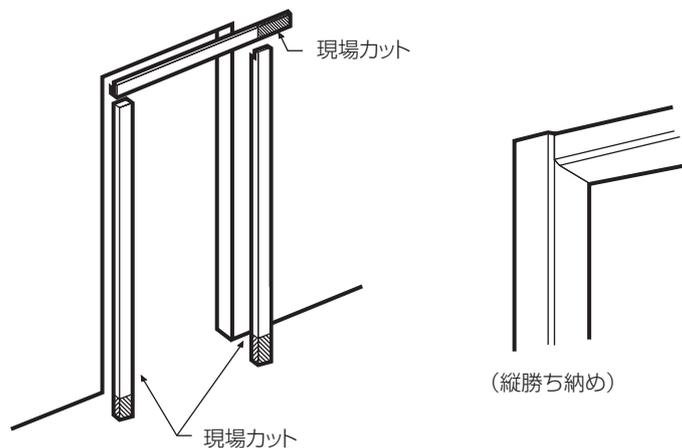
・寸法②は768.5 (668.5) mm以下としてください。

・寸法③は1677 (1477mm) 以下としてください。

《3. 開口フレームセット取付》

既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合は不要。

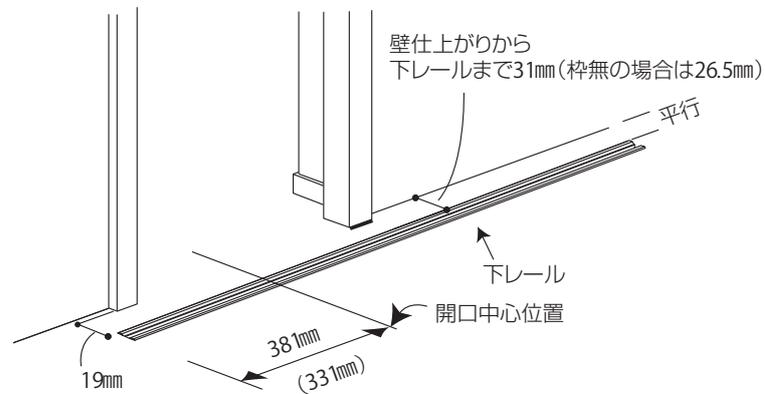
縦用・横用ともに、現場に合わせて直角にカットして取り付けてください。



《4. 下レール位置出し》

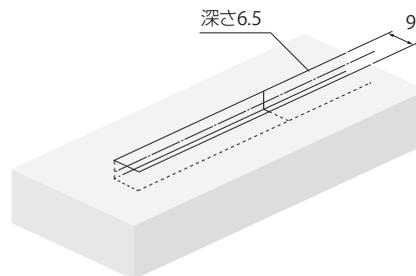
下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。扉を開いた時と閉じた時、どちらの場合も扉の下はストッパーに、当たるようにしてください。

図は913幅タイプの場合。() 寸法は813幅タイプの場合です。



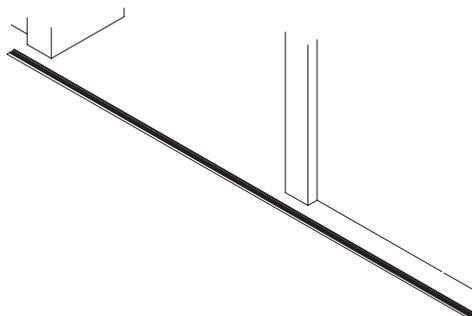
《5. 床/敷居の加工寸法参考図》

※掘込溝の位置は下部戸車のセンター位置・戸の開閉位置を考慮して決定してください。



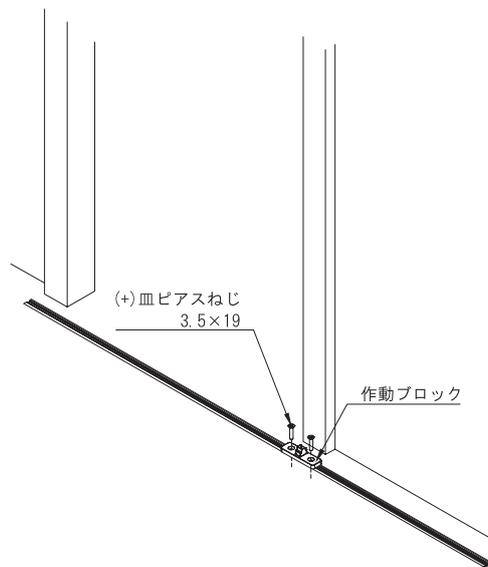
《6. レールの取付》

※レールを掘込溝に取付けて下さい。

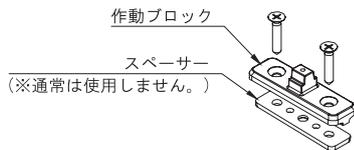


《7. 作動ブロックの取付》

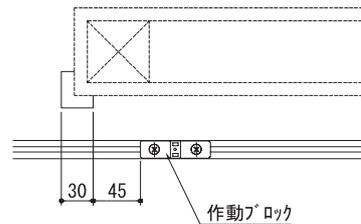
※作動ブロックの取付位置に合わせ、下穴を開け、作動ブロックを取付けて下さい。



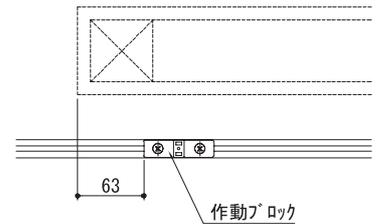
・戸車の上調整を2mm以上行う場合は、スペーサーで作動ブロックの高さを調整して下さい。
(スペーサーを取付けないとソフトクローズが正常に作動しない恐れがあります。)



枠有の場合

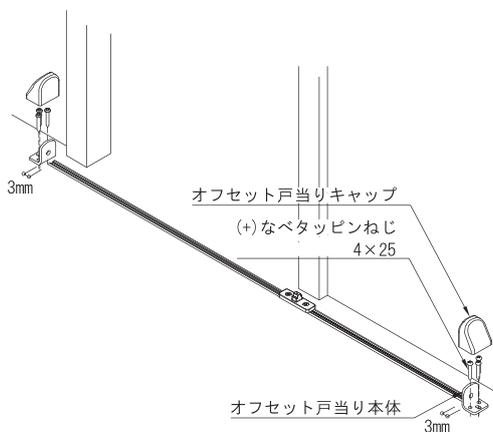


枠無の場合

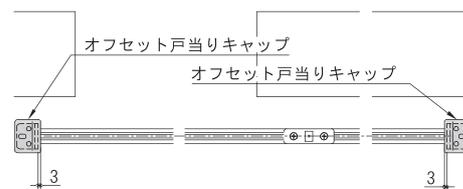


《8. オフセット戸当りの取付》

※オフセット戸当りを取付けて下さい。

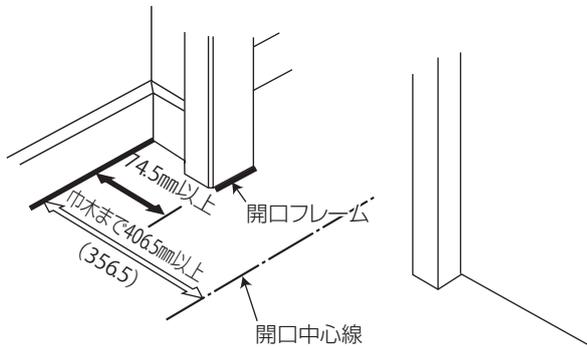


オフセット戸当りを取付ける際は、レール端部より3mmあけて本体を取付けて下さい。
その後、ゴムキャップをかぶせて下さい。

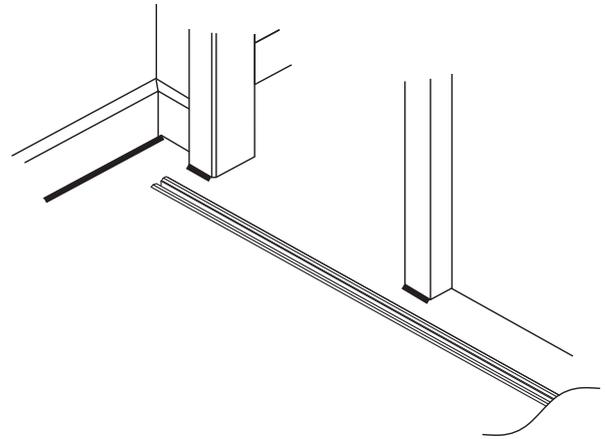


《9. 入隅部の下レール位置出し・取り付け》

①開口フレームより74.5mm以下には取付できません。
入隅側の巾木から開口枠内側までの寸法を確認してください。

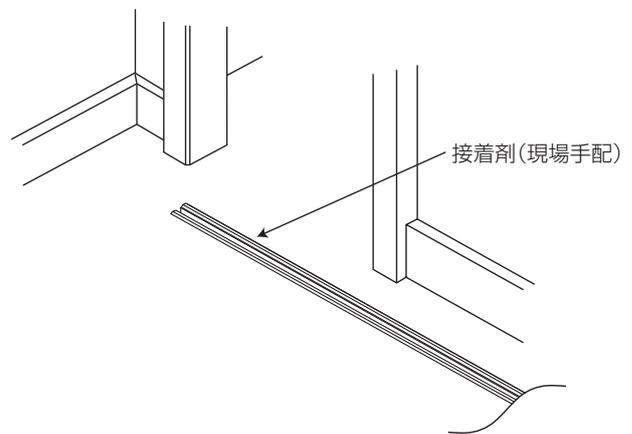


②下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。位置は< 4. 下レール位置出し > 参照してください。



③下レールを接着剤（現場手配）で固定してください。

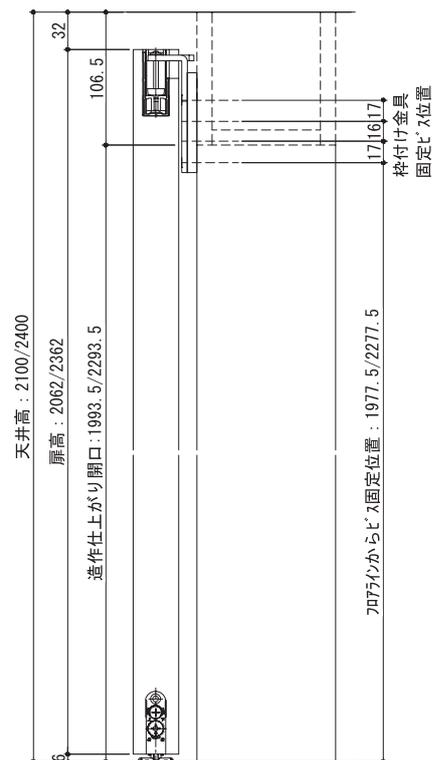
※下レールは壁面と平行に固定してください。
平行でない場合、扉の脱落の原因となります。



6 施工手順・直付レール仕様

《1. 開口部の下地確認》

- ①開口上部（枠付け金具固定ビス位置）に下地があるかご確認ください。無い場合は、補強材（現場調達）を入れてください。
※下地がないところへ取付けた場合、扉の脱落の原因となります。
- ②開口上部の仕上材が合板又は石膏ボードであるかご確認ください。
※土壁等の場合、ビス固定できません。
- ③開口下部の仕上材が木質フロアであるかご確認ください。
※カーペット等には取付できません。
※クッション性のあるフローア（防音用フローア等）の場合は、下レール下部フロアのクッション材は取り除き合板等を入れてください。
- ④開口下部の下地が木質下地であるかご確認ください。
※木質以外及び木質下地のないところには取付できません。

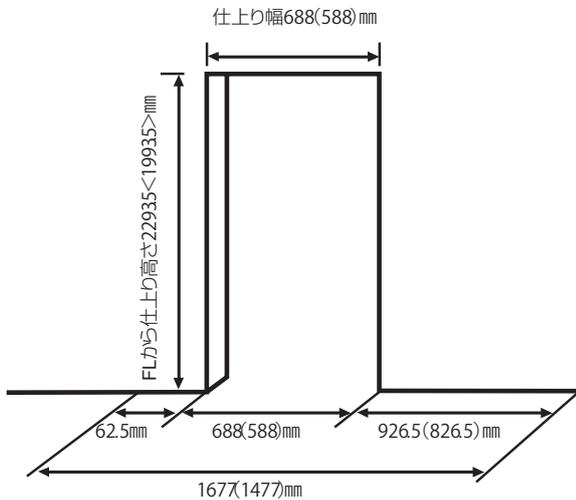


《2. 開口部の寸法確認》

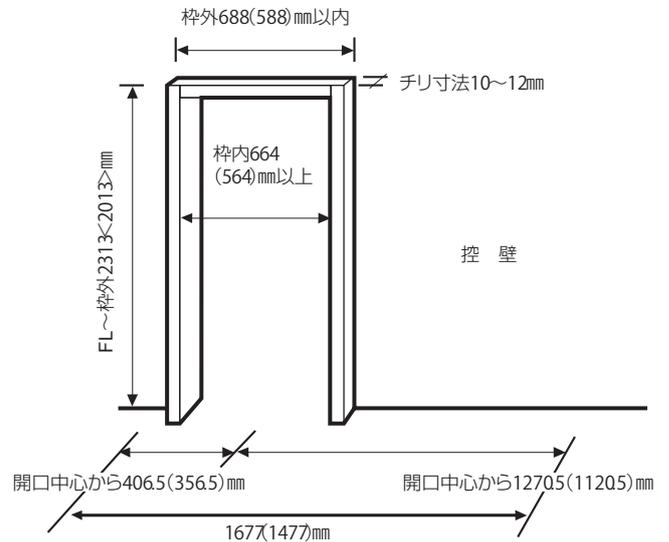
図は913幅タイプです。() 寸法は813幅、< > 寸法は2100高です。

※開口部フレームなしタイプもございます。

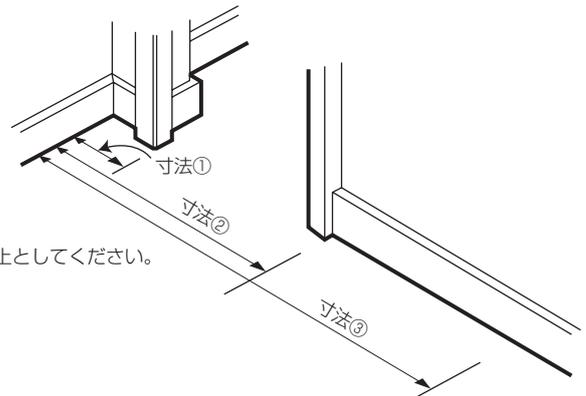
- 開口フレームセット使用の場合（取付前の仕上がり寸法）



- 既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合



- 入隅の場合（開口フレーム取付後の仕上がり寸法）

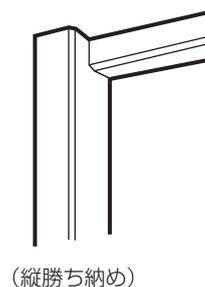
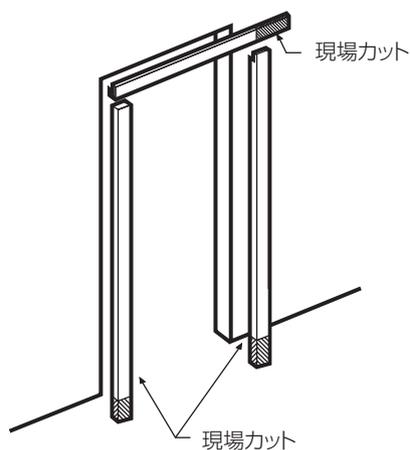


- ▽寸法①は開口フレームあり：74.5mm、なし：62.5mm以上としてください。
- ・寸法②は768.5（668.5）mm以下としてください。
- ・寸法③は1677（1477mm）以下としてください。

《3. 開口フレームセット取付》

既存枠を使用または無目枠を新規使用の場合は不要。

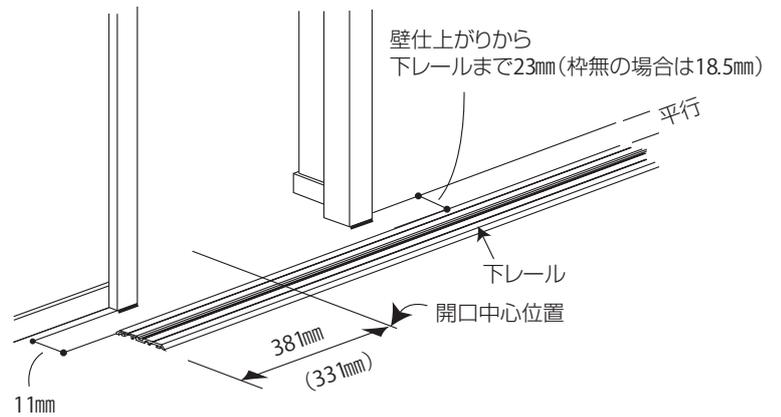
縦用・横用ともに、現場に合わせて直角にカットして取り付けてください。



《4. 下レール位置出し》

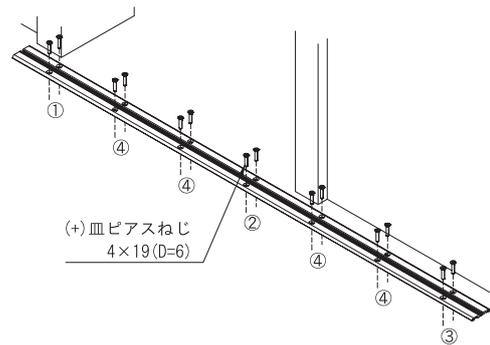
下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。扉を開いた時と閉じた時、どちらの場合も扉の下はストッパーに、当たるようにしてください。

図は913幅タイプの場合。() 寸法は813幅タイプの場合です。



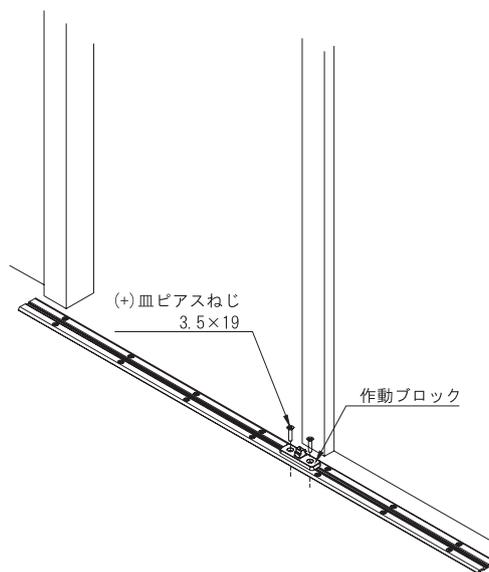
《5. レールの取付》

※レールの穴加工位置（300mmピッチ）に合わせ、床に下穴を開け、レールを取付けて下さい。ねじを止める際は①②③④の順序で止めて下さい。

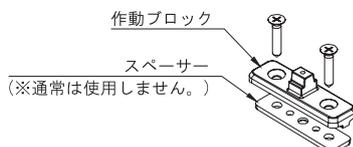


《6. 作動ブロックの取付》

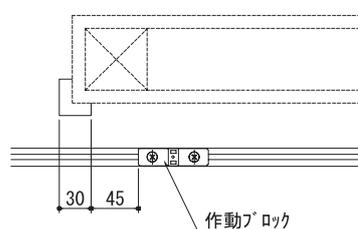
※作動ブロックの取付位置に合わせ、下穴を開け、作動ブロックを取付けて下さい。



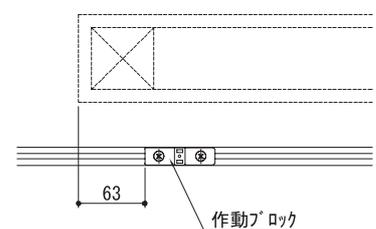
・戸車の上調整を2mm以上行う場合は、スペーサーで作動ブロックの高さを調整して下さい。(スペーサーを取付けないとソフトクローズが正常に作動しない恐れがあります。)



枠有の場合

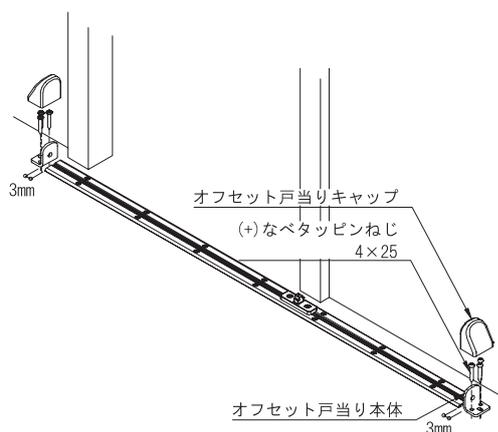


枠無の場合

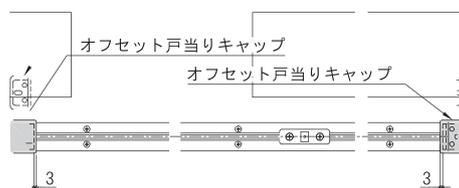


《7. オフセット戸当りの取付》

※オフセット戸当りを取付けて下さい。

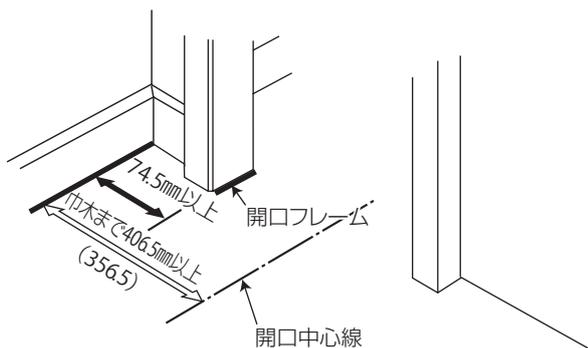


オフセット戸当りを取付ける際は、レール端部より3mmあけて本体を取付けて下さい。その後、ゴムキャップをかぶせて下さい。

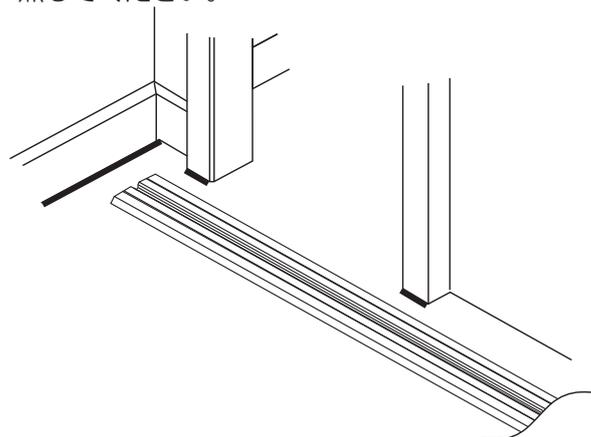


《8. 入隅部の下レール位置出し・取りつけ》

①開口フレームより74.5mm以下には取付できません。入隅側の巾木から開口枠内側までの寸法を確認してください。

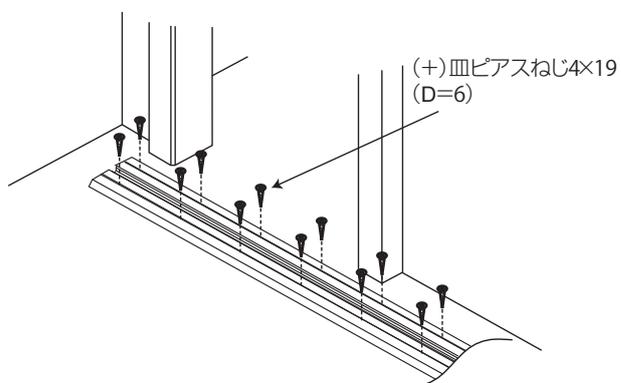


②下レールを壁面と平行に下図の位置に仮置きしてください。位置は<4. 下レール位置出し>参照してください。



③下レールを専用ビス（同梱品）で固定してください。

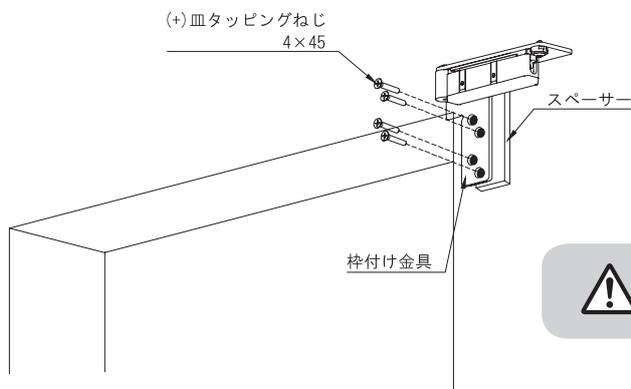
※下レールは壁面と平行に固定してください。平行でない場合、扉の脱落の原因となります。



7 施工ガイド

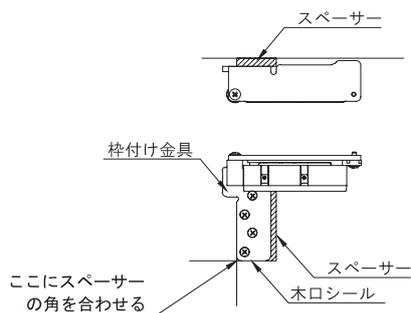
《枠付け金具（枠用ブラケット）の取付》

2 3 のA詳細図の寸法を参照して枠付け金具を壁にビスで固定して下さい。



ビス固定位置に下地があることを確認してください。
ビス固定位置は5 6の寸法図を参照してください。

枠付け金具を壁に取り付ける際は、必ず裏側にスペーサーを入れてからビスで固定してください。
スペーサーは下角合わせで取り付けてください。



※上図はRを示す（Lは左右対称）

スペーサー

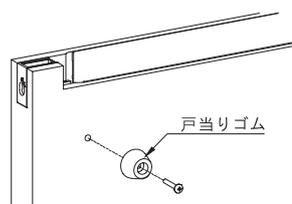
- ・ 枠無の場合 7.5×35×94
- ・ 枠有の場合 12×35×94



スペーサーの下端には木口シールを貼ってください。
枠付け金具の穴に合わせて、スペーサーに下穴をあけてからビス固定してください。
スペーサーは、枠が有る場合と無い場合で厚みが違います。

《戸当りゴムの取付》

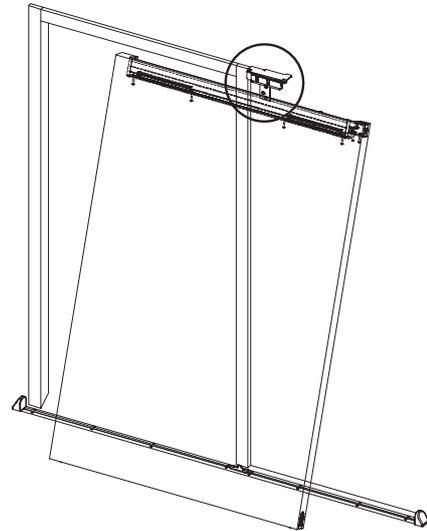
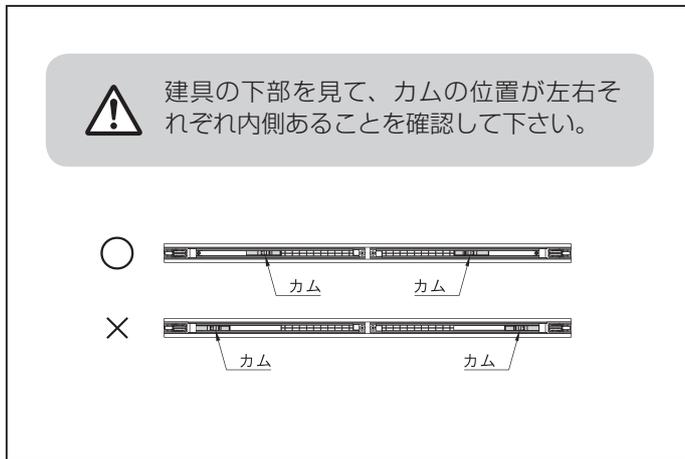
ゴム戸当りを建具戸尻側の裏面上部下穴に合わせ、ビスで固定して下さい。



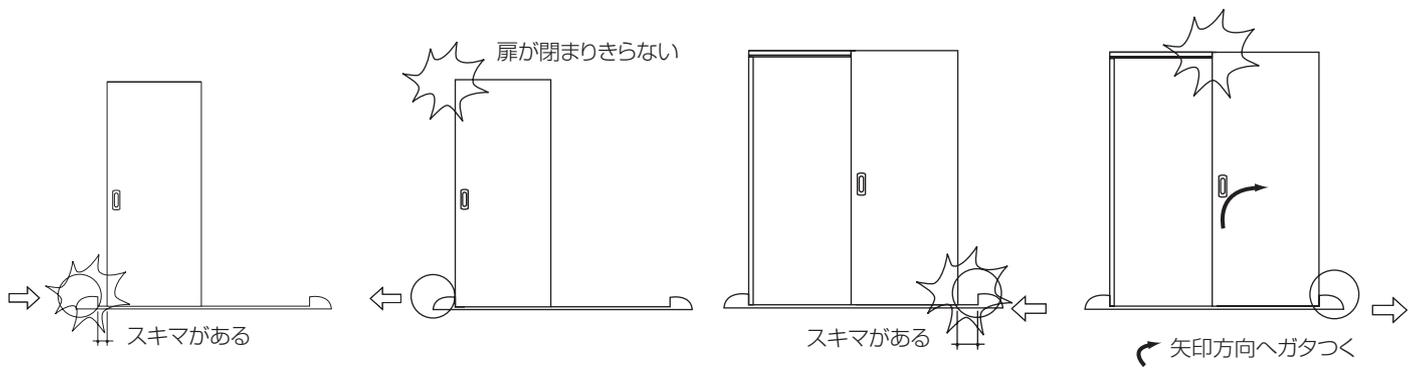
ゴム戸当りを取付ける際は、電動ドライバーは使用しないで下さい。

《建具の吊り込み》

建具の中央とガイド兼用跳上抑止金具を合わせて吊り込んで下さい。(けんどん)



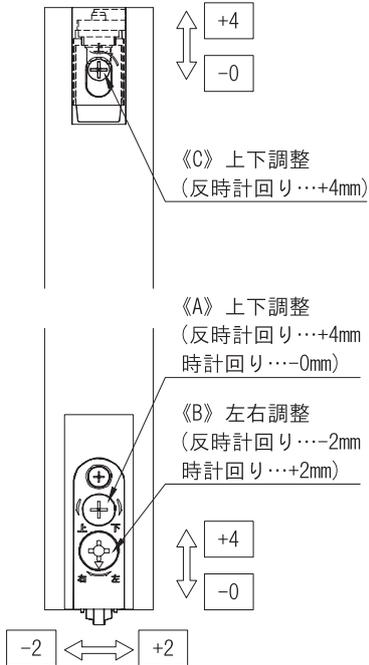
扉が閉まりきらない、またはがたつく場合はレールの位置を調整してください。



8 各部の調整

《建具の調整（垂直）》

建具を吊り込んだ後、調整が必要な場合は、下図を参考に建具の納まり調整をして下さい。



【ガイド兼用跳上抑止金具】

《C》を回すことによって上下の調整が出来ます。

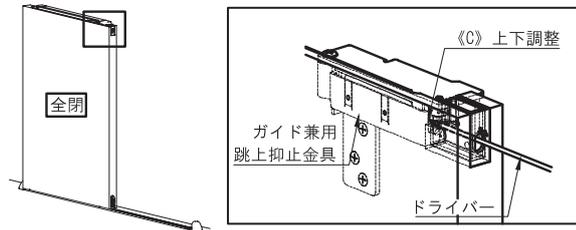
【戸車】

《A》を回すことによって上下の調整が出来ます。

《B》を回すことによって左右の調整が出来ます。



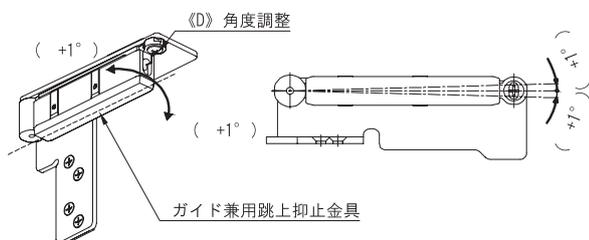
- ・調整する際は、電動ドライバーは使用しないで下さい。
- ・ガイド兼用跳上抑止金具は、建具を全閉した状態でのみ調整出来ます。



- ・《A》を回す事により、ガイド兼用跳上抑止金具とレールが干渉する場合は《C》を回して調整して下さい。
- ・《A》を回して上調整を2mm以上行う場合、「6. 作動ブロックの取付」を参考にスペーサーで作動ブロックの高さを調整して下さい。

《建具の調整（走行）》

建具を吊り込んだ後、レールとガイド兼用跳上抑止金具が干渉し、走行に不具合があった場合のみ、下図を参考に調整して下さい。



【ガイド兼用跳上抑止金具】

《D》を回すことによって角度の調整が出来ます。

(ねじを緩め、角度調整後、締付けて下さい。)

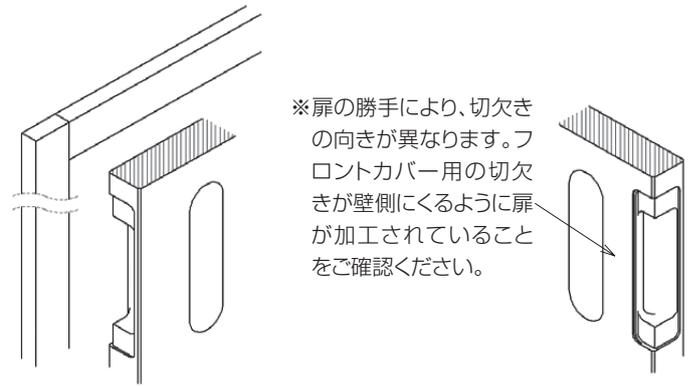


調整する際は、電動ドライバーは使用しないで下さい。

9 枠有錠付タイプの場合

《扉の彫り込み確認》

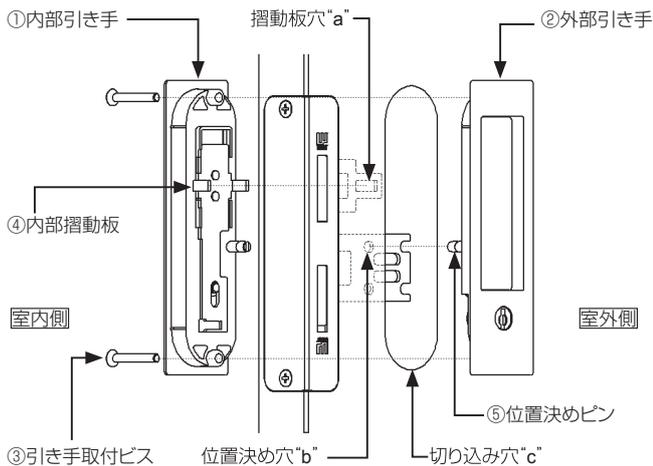
引き手を取り付けてください。
取付方法は錠付セットに同梱の取付説明書も併せてご覧ください。



《引き手の取り付け》

～ 引き手の取り付け方法 ～

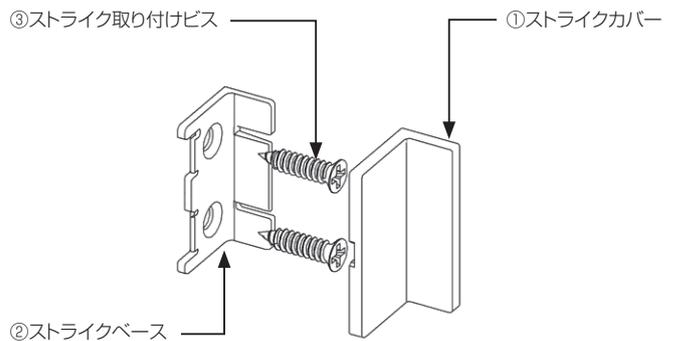
1. 内部摺動板④が摺動板穴“a”を貫通するように内部引き手①を扉の切り込み穴“c”にセットしてください。
2. 位置決めピン⑤が位置決め穴“b”を貫通するように外部引き手②をセットしてください。
3. 室内側より、取り付けビスにて固定し、正常作動するか確認してください。



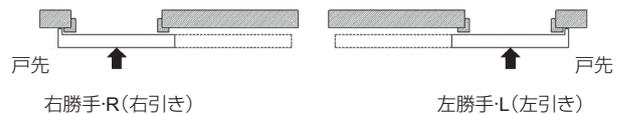
※本図は左勝手・L(左引き)とする。

～ 受の取り付け方法 ～

1. ストライクベース②の中心とデッドボルトの中心を合わせ、ストライク取付ビス③でストライクベース②を固定してください。
2. ストライクカバー①をストライクベース②にはめ込んでください。



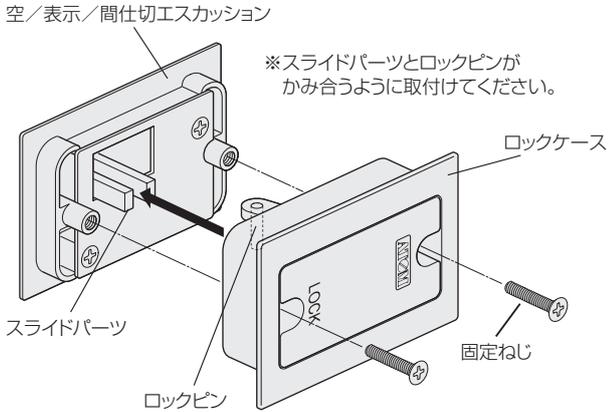
～ 左右の勝手について ～



10 枠無錠付タイプの場合

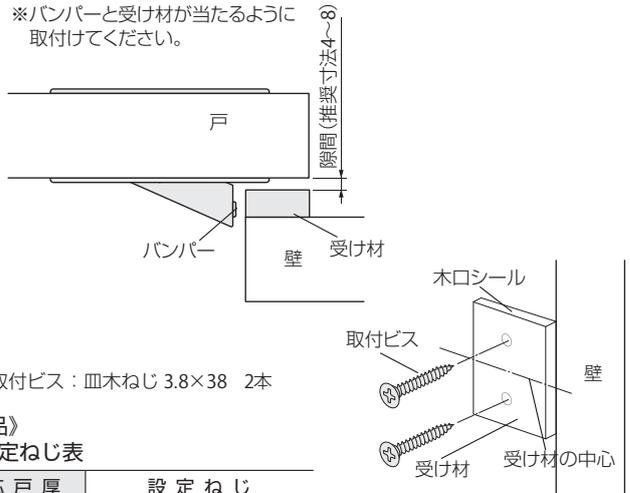
1. 本体の取付け

掘込加工穴に、室外側から空／表示／間仕切エスカッションを、室内側からロックケースを差し込み、ねじ止めします。



2. ストライクの取付け

受け材の中心とロックケースの中心を合わせ、受け材取付ビスで壁端部に固定してください。



受け材取付ビス：皿木ねじ 3.8×38 2本

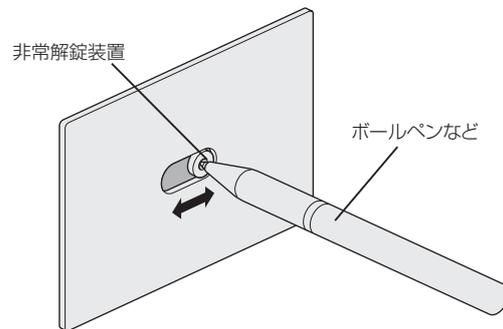
《添付品》
本体設定ねじ表

対応戸厚	設定ねじ
28~32mm	+皿小ねじM4×12 2本
32~35mm	+皿小ねじM4×16 2本
35~40mm	+皿小ねじM4×20 2本

- 必ず下地がある位置にビスを固定してください。
- 受け材には下穴をあけてください。
- 受け材の木口には木口シールを貼ってください。

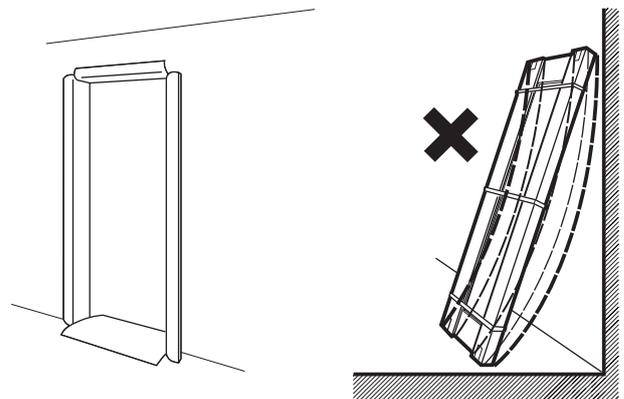
■非常時の室外側からの解錠方法（表示・間仕切の場合）

非常解錠装置の中央の穴部にはボールペンやクリップの先端などの細いものを差込んで横にスライドし、解錠してください。



11 養生

工事が完成するまで、扉・開口出隅・レールをダンボールなどで養生してください。
また工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: **0120-468-838** FAX: 0120-382-096

